

令和8年4月1日

試験依頼者住所 福井県越前市塚原町24-15
試験依頼者 株式会社 フェニックス



試験委託者住所 福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
試験委託者 ベルテクス株式会社 試験分析センター
試験責任者 センター長 小林 宏成

試験結果報告書

材料試験の結果を別紙の通りご報告致します。

- | | |
|---------|---|
| 1. 試験名 | 6号砕石(S-13)の材料試験 |
| 2. 採取場所 | 株式会社フェニックス砕石工場 越前市下平吹町 |
| 3. 試験項目 | ふるい分け試験・微粒分量試験・単位容積質量試験
密度及び吸水率試験・すりへり試験・安定性試験
粘土塊量試験 |

骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 フェニックス
	所在地	福井県越前市下平吹町18-1
申依頼 請事者 事項	試料採取日	令和8年3月2日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	橋本 俊幸
試料搬入日		令和8年3月2日
試験日		令和8年3月3日 ~ 令和8年3月31日

試験体種類	産地
粗骨材	6号砕石(S-13) 南条郡南越前町赤萩

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	6.41
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.2
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.57
		実積率 %	58.8
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.70
		絶乾密度 g/cm ³	2.67
		吸水率 %	1.01
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	17.7
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	4.8
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.00
骨材中の塩化物量試験	JIS A 5308	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		赤澤 駿介	

<試験実施場所> ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

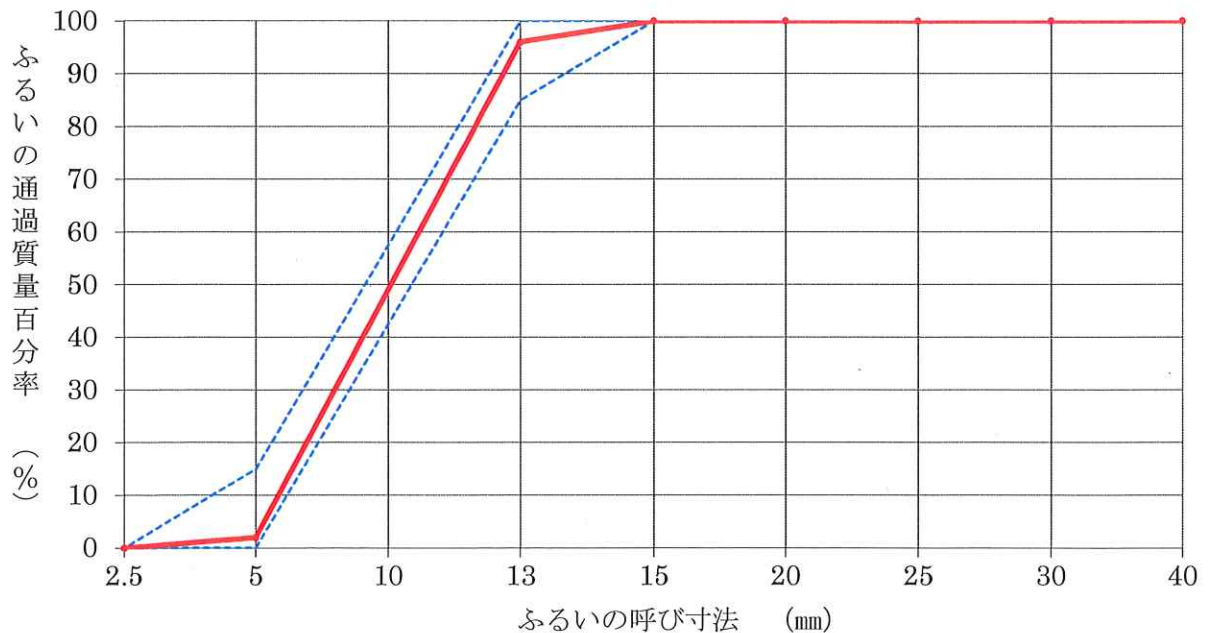
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験 (粗骨材)

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日	令和 8 年 3 月 6 日			
試料	種類	6号碎石(S-13)	最大寸法	13 mm
	産地	南条郡南越前町赤萩		
	採取日	令和 8 年 3 月 2 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	3167	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
40	0	0	0	100
30	0	0	0	100
(25)	0	0	0	100
20	0	0	0	100
(15)	0	0	0	100
(13)	116	4	4	96
10	1220	39	43	57
5	1738	55	98	2
2.5	77	2	100	0
受け皿	15	0	100	0
合計	3166	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.03	粗粒率	6.41	

粒度曲線図



試験規格： JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材			
試 験 日	令和 8 年 3 月 5 日		
試 料	種 類	6号砕石(S-13)	
	産 地	南条郡南越前町赤萩	
	採 取 日	令和 8 年 3 月 2 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試 験 回 数	1	2	
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	1558.9	1549.7
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	1555.2	1546.5
骨材の 微粒分量 = $\frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.2	0.2
2回の試験の平均値 (%)	\bar{A}	0.2	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日			令和 8 年 3 月 31 日	
試料	種類	6号砕石(S-13)		
	産地	南条郡南越前町赤萩		
	採取日	令和 8 年 3 月 2 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	22.289	22.350
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	m_1	15.589	15.650
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.57	1.57
	2回の試験の平均値 (kg/l)	\bar{T}	1.57	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm^3)	d_D	2.67	
	実積率 = $\frac{T}{d_D} \times 100$ (%)	G	58.8	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日			令和 8 年 3 月 18 日	
試料	種類	6号碎石(S-13)		
	産地	南条郡南越前町赤萩		
	採取日	令和 8 年 3 月 2 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	1614.8	1588.7
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m_2	1415.3	1399.4
	金網かごの水中質量 (g)	m_3	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm^3)	ρ_w	試験水の温度 20 °C	
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm^3)	D_s	2.70	2.70
	2回の試験の平均値 (g/cm^3)	\bar{D}_s	2.70	
平均値からの差 (規格値:0.01 g/cm^3 以下)			0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	1598.8	1572.6
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm^3)	D_d	2.67	2.67
	2回の試験の平均値 (g/cm^3)	\bar{D}_d	2.67	
	平均値からの差 (規格値:0.01 g/cm^3 以下)			0.00
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.00	1.02
	2回の試験の平均値 (%)	\bar{Q}	1.01	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm^3)	温度 (°C)	密度 (g/cm^3)	温度 (°C)	密度 (g/cm^3)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日		令和 8 年 3 月 19 日					
試料	種類	6号砕石(S-13)					
	産地	南条郡南越前町赤萩					
	採取日	令和 8 年 3 月 2 日					
	採取場所	骨材堆積場					
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の各群の質量 (g)
通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)	各群にとどまるもの質量 (g)	各群にとどまるもの質量百分率 (%)				
(mm)	(mm)	(g)	(%)	A~G	6~12	500または1000	m ₁
2.5	—	15	0				
5	2.5	77	2				
10	5	1738	56				2500
15	10	1336	42				2500
20	15	0	0				
25	20	—	—				
40	25	—	—				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		3166	100	C	8	500	5000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m ₂	4113			
すりへり損失質量		m ₁ - m ₂	(g)	887			
すりへり減量		$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$		17.7 (%)			

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材							
試 験 日		令和 8 年 3 月 27 日					
試 料	種 類		6号砕石(S-13)				
	産 地		南条郡南越前町赤萩				
	採 取 日		令和 8 年 3 月 2 日				
	採 取 場 所		骨材堆積場				
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量 (g)	試験後の 各群の質量 (g)	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$ (%)	骨材の損失 質量分率 $\frac{\textcircled{1} \times P_1}{100}$ (%)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	①質量分率 (%)	m_1	m_2	P_1	(%)
10	5	1738	57	306	292	4.6	2.6
15	10	1336	43	515	489	5.0	2.2
20	15	0	0	—	—	—	—
25	20	—	—	—	—	—	—
40	25	—	—	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		3074	100	—	—	—	4.8

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格： JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材		
試 験 日	令和 8 年 3 月 10 日	
試 料	種 類	6号碎石(S-13)
	産 地	南条郡南越前町赤萩
	採 取 日	令和 8 年 3 月 2 日
	採 取 場 所	骨材堆積場
試験前の試料の乾燥質量 (g)	m_{D1}	1578
試験後の試料の乾燥質量 (g)	m_{D2}	1578
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)	C	0.00

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

